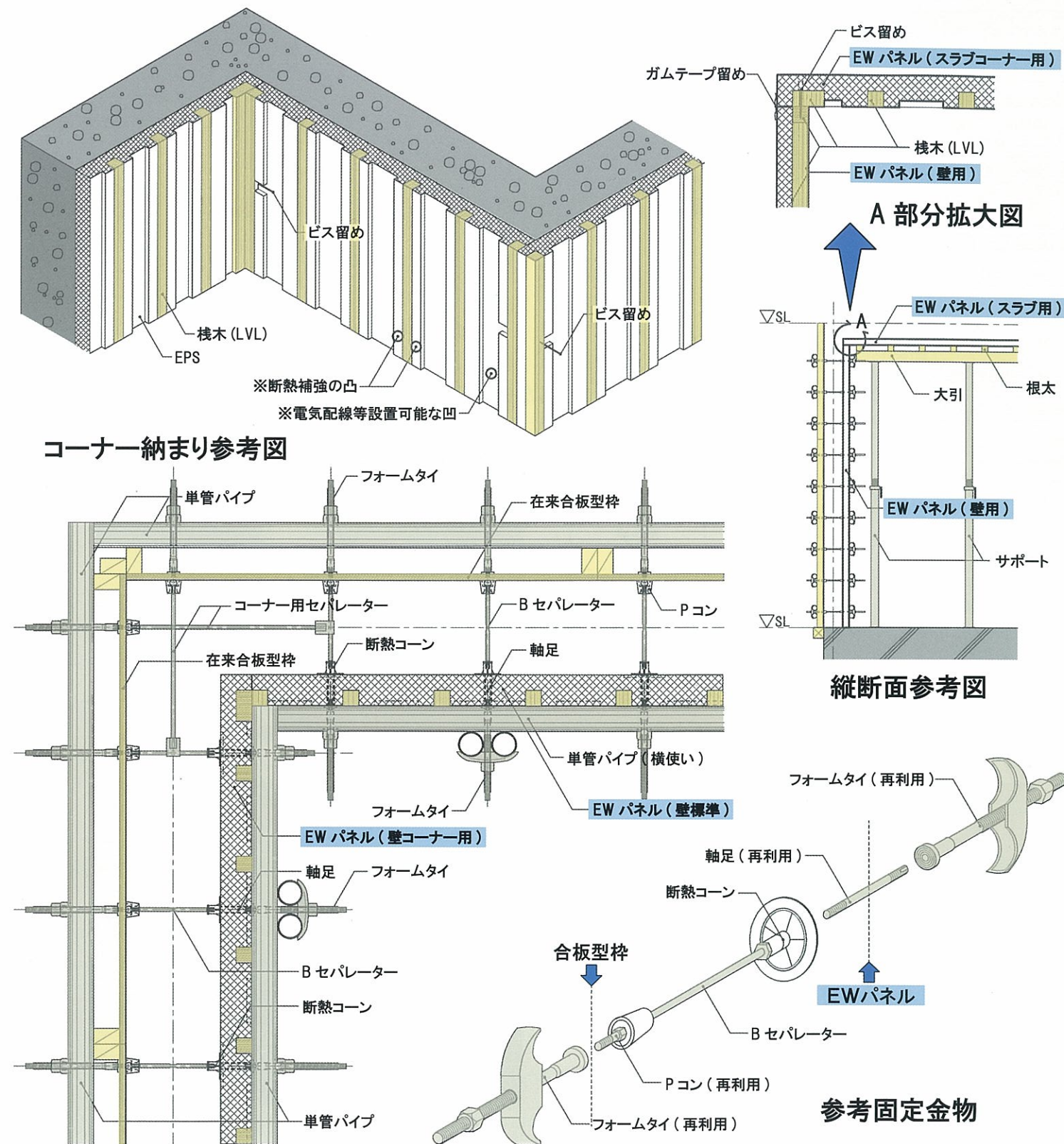




コーナー納まり参考図

縦断面参考図

参考固定金物

■取扱上の注意！

- EW パネルのご使用にあたっては、事故のないように正しくご使用下さい。
- EW パネルは、自己消化性 (EPS) の素材を使用しておりますが、火気に触れると燃焼することがあります。現場などでは、製品を火気のそばに置かないようご注意ください。
- EW パネルは、揮発性の溶剤には溶けますので、特にガソリン・灯油・塗料にはご注意ください。
- EW パネルは、80℃以上の熱で変形しますので、高温部には近づけないようご注意ください。
- EW パネルは、強い衝撃を与えると破損する恐れがあります。運搬時・保管時・作業時には、傷がつかないようにご注意ください。また、保管は日光の当たらない平らな場所に置き、養生シートで保護して下さい。
- 角欠け・破損等の場合は、発泡ウレタンを充填して下さい。
- 蟻害にご注意下さい。

■注意事項！

- 本カタログの記載内容は、2012 年 1 月現在のものです。製品の仕様は予告なしに変更することがありますのでご了承下さい。
- 本カタログの記載事項は、細心の注意をはらって当社が実施したことに基づくものです。実際の使用結果を保証するものではありません。
- 本製品の使用方法および本製品を使用した製品に関する工業所有権については、保証するものではありませんのでご注意ください。

 **コンフォートフォーム株式会社**

〒130-0024 東京都墨田区菊川 2 丁目 1 3 番 9 号 TEL03-3632-8561/FAX03-3632-0098
E-mail : cf-1@ishiyamapack.co.jp

12' 01



型枠兼用内装下地用断熱パネル

EW パネル



 **コンフォートフォーム株式会社**



コーナーパネル 標準パネル

＜標準寸法＞
幅：180/300/900
長さ：300/600/900/1,200
：2,400/2,700/3,000
厚さ：60(最厚部)

☆特長

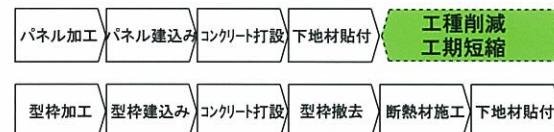
※EPS → ビーズ法ポリスチレンフォーム

- ・コンクリート建築物の型枠として使用した場合、断熱材と内装下地が一度に出来るため工種減少によるコストダウンが可能です。
- ・EPSと木桟木で構成されているのでカット等の加工も特殊工具がなくても簡単に出来、また木桟木部分には釘ビス等の固定も容易に出来ます。
- ・EPSと木桟木が一体となっているため、とても軽量(基本パネル 約12.5kg)で作業が容易に出来ます。
- ・EPSは金型成型のため厚みムラがないので安定した断熱性能を確保出来ます。
- ・断熱効果が高い(熱伝導率 0.034W/m・k)ので一年中快適に過ごす空間造りを補助し、省エネ効果に役立ちます。
- ・EPS製造には一切フロン系ガスは使用していないのでオゾン層破壊など地球温暖化問題等の環境負荷を軽減しています。
- ・構成部材に使用している桟木(JAS規格品 構造用単板積層材 LVL)は強固かつホルムアルデヒド放散量、F☆☆☆☆なので内装下地として安心してご使用いただけます。

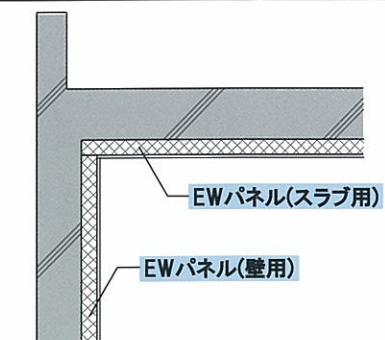
☆工程比較

EWパネル工法

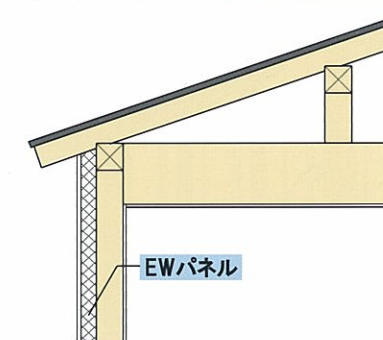
在来工法



☆主要用途



○鉄筋コンクリート造の型枠及び断熱材と下地として(壁・スラブ)



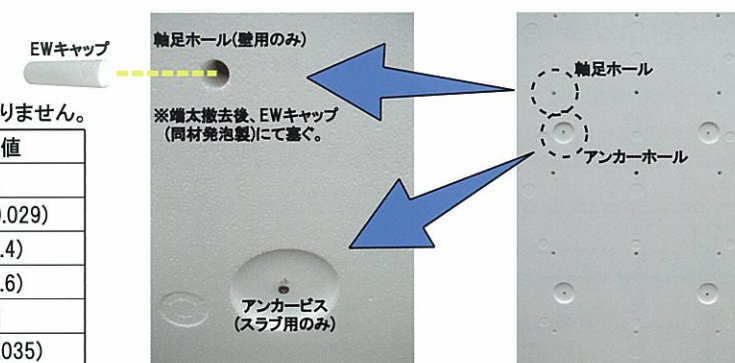
○木造建築物の断熱材として(壁)

その他:EPSと木桟木による断熱パネルなので使い方はさまざまです！

☆EPS性能値

※注 下記表数値は保証値ではありません。

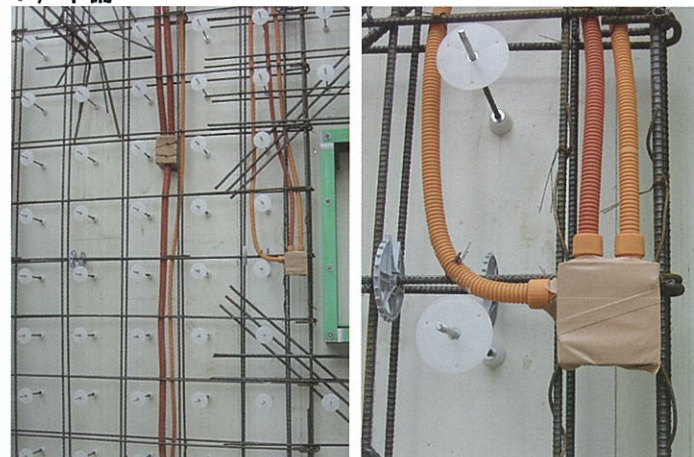
項目	単位	特性値
密度	kg/m ³	31
熱伝導率	W/m・k(kcal/mh℃)	0.034(0.029)
曲げ強度	N/cm ² (kgf/cm ²)	54(5.4)
圧縮強度	N/cm ² (kgf/cm ²)	26(2.6)
吸水量	g/100cm ³	0.1
透湿係数	ng/m ² ・s・pa(g/m ² ・h・mmHg)	73.1(0.035)



パネル裏側

施工手順(型枠として)

1 / 準備



2 / 搬入



3 / 壁パネル建込み



4 / 端太取付



5 / スラブパネル敷込み



6 / コンクリート打設



7 / 端太撤去



8 / 内装下地材貼付

